

大石地区まちづくり協議会だより

第3号

2014. 7

発行
大石地区まちづくり協議会
松阪市大石地区市民センター内
TEL 0598-34-0004

第3回 定期総会開催 事業計画 予算決まる



松阪市長 山中光茂氏が第3回定期総会に駆けつけお祝いの挨拶

大石地区まちづくり協議会（鈴木 恭一会長）は、4月26日（土）午後7時30分より、大石地区市民センター1Fホールで、同協議会の第3回定期総会を開いた。

総会は、岡本大石町自治会長の開会宣言、鈴木会長の挨拶で始まった。松阪市山中市長から祝辞を頂いた後、中西県議会議員、大平市議会議員をはじめ、来賓関係者加藤部長、村林

次長、社会福祉協議会事務職人など紹介を紀平事務局長から行った。

議長に小片野町自治会からの高岡委員を選び、紀平事務局長から第一号議案、平成25年度大石地区まちづくり協議会事業報告。第二号議案、同協議会の収支決算報告、会計監査報告。第三号議案、同協議会の事業計画（案）健康福祉部杉本部長、防災防犯部勝田部長から計画の重点など思いを補足説明。第四号議案、同協議会の会計予算（案）。第五号議案、同協議会の役員及び運営委員（案）をそれぞれ提案説明し、各議案とも満場一致で可決された。岡本新会長から挨拶し、最後に中山副会長（民生委員等）が閉会宣言をして締め括った。

都市化した小片野町を中心

第3回定期総会で「大石地区まちづくり協議会」会長に就任いたしました岡本です、どうか宜しくご協力ご支援頂きますようお願い致します。



岡本俊光会長

当協議会は、3年目をスタートしたわけですが都市化した小片野町を中心とした国道166号線を起点に両端に大石町と六呂木町が位置する中山間地域です。

加えて射和、広瀬、飯南、飯高、勢和、多気などの道筋から集中する経済圏と成っております。

大石地区は三町とも少子高齢化が進んでおります、健康福祉・防災防犯活動が共通する中心課題で老人から若者までが暮らしやすい、安全で安心して定住できるまちを目指して、行政をはじめ大江中学校区、保育園幼稚園、小中学校の交流や、それぞれの自治会、各組織間の連携、人とひとのつながりを大切に、「笑顔あふれるまちづくり」を進めていきます。

今後は、まちづくり協議会の存在意義を広げ各部会活動などを通じて皆様に周知徹底をはかり、住民自らが活動して頂く事はもちろんなお一層の参加協力を重ねてお願い申し上げる次第です。

平成26年度 主な計画の部会活動を紹介します

健康福祉・スポーツ文化・防災防犯・環境総務・部会の主な計画

健康福祉部会

元気アップ教室月1回4会場、敬老会祝菓子の配布、年賀状、芸能発表会、老人会と子供たちとのふれあい交流会、65歳以上一人暮らし世帯の配食サービス年4回、大江中学生の福祉活動、防災カルテ運営等

スポーツ文化部会

白猪山登山行事、大石地区体育祭、球技大会（ボウリング）、南地区合同グラウンドゴルフ大会、文化祭、木工教室、大江中学校区保育園、幼稚園交流会、キャリア教育講演会、ウォーキング活動等

防災防犯部会

防災訓練は地震体験車を設置。9月14日3会場で避難・消火・放水・応急処置等の訓練、AED・地震体験の実施、交通安全啓発活動、防犯灯の更新、設置事業等 防災カルテの把握（災害時の対応）等

環境総務部会

広報誌の発行年2回、公民館だより毎月1回、大石学級年7回、天文教室4回、子育て支援事業、健全育成活動会、（剣友会、子供会等）環境美化運動、緑化活動（桜の植木等2月）等 皆様自らの活動と参加を期待します。



大石地区防災デー 平成26年9月14日（日） 防災避難訓練

大石地区まちづくり協議会防災防犯部会（勝田敏樹部会長）は防災訓練について、各関係機関協力により開催する運びとなった。日時は、9月14日（日曜日）集合避難場所により時間について異なる。住民の皆様の防災意識の向上と連携を深め、いざという時の対応方法など体験して頂く計画です。是非この機会に訓練に参加して下さい。

●訓練の内容は次のとおり

避難訓練、初期消火訓練、消火栓による放水訓練、AED体験訓練、応急処置訓練、地震体験訓練を予定している。地震体験車は、各地区避難訓練場所に移動して設置する。移動時間も含まれているので体験準備を早めに行うこと。

地震体験車時間設定は、次のとおり

大石防災センター	13:00～14:00（大石町）
大石地区市民センター	14:00～15:00（小片野町）
六呂木集会所	15:00～16:00（六呂木町）

詳細は、決定次第、各町単位で案内しますので1人でも多くの住民の皆様参加をよろしくお願い致します。



消火栓を使った放水訓練



地震体験車を利用



防災防犯部会長 勝田敏樹

今回は「健康福祉部会」から大石老人会・和朗会・小片野ときわ会・六呂木老人会代表から活動を紹介

日帰り旅行と新年会は楽しみ



大石老人会・和朗会会長 駒谷 静子

大石老人会（和朗会）について少し紹介させていただきます。

和朗会は現在、女性ばかり二十五名の会員で成り立っております。（男性の入会を希望しております）目的と致しましては、先ず健康で友人の輪を作り助け合いながら孤独な日々を送らないようにと、いろいろな行事に参加しております。

行事内容と致しましては、年二回の大石地区全体で行われます。大石神社の清掃奉仕作業に参加しております。和朗会、独自の行事と致しましては、やはり年二回の幼稚園の園庭除草作業はかせません。

その他に地区体育祭、幼稚園の運動会、公民館の文化祭、芸能発表会、幼稚園の「ふれあい会」には、積極的に参加しております。中でも園児連との「ふれあい会」では、園児の作品や歌、ダンス、劇など、一生懸命に演技してくれる姿に感動させられます。その後園児と共に昼飯をいただき、後は「あやとり（接取り）（昔の遊び）」お手玉、ゲームなど一緒に遊び楽しむひと時を過ごします。

この他に、月二回のカラオケとおしゃべり会、週二回のグラウンドゴルフの練習、年一回グラウンドゴルフ大会を行っております。

また、趣味講座も設けております。昨年は「ちぎり絵」を教えていただき、なかなかの力作が出来上りました。

最後になりましたが、年一回の日帰り旅行と新年会は会員の最大の楽しみとなっております。

少人数の会ではありますが、和気藹々と気楽にやっております。六十才以上の方ぜひ和朗会へお入り下さい。よろしくお願致します。

町内美化清掃生徒と合同で――



小片野ときわ会会長 宮本 一夫

「小片野ときわ会」は発足後7年目の年を迎え、現在71名の方々に、会員として地域活動の一端を担って頂いております。

具体的には、毎月の「資源ごみ回収」係、幼、小、中学生と合同での「町内美化清掃」年2回三地区合同による「大石神社清掃」お楽しみ保育所園児との「ふれあい会」等々の行事を行うと共に年2回程度の「小旅行」を実施し、楽しくひと時をすごしながら相互の親睦をはかっています。他方、平成24年に設立された「まちづくり協議会」には、4部会内の「健康福祉部会」「防災防犯部会」に所属、他のグループとともに協議会の目的である「地域内での問題は自分達で解決する、地域の個性を生かすつつ安心、安全で且つ笑顔あふれる町をつくる」を目指し会員の方々に多数参画して頂く等「小片野ときわ会会員」としての役割を担って頂いております。ただ危惧すべきは高齢化が進む昨今会員数が年々減少傾向にあります。町内には「ときわ会」入会年齢期の方々がまだまだ沢山おられます、各種行事への参加は自由で強制は決してございません。会員登録と年間500円の会費をご負担願う、そのことで「ときわ会」の運営と向上については地域の発展に貢献していただく事につながると思いますが、又、会員数が増すことで会の意気も上がると確信しておりますので何卒趣意ご理解の上、ご入会下さいませようお願い致します。

最後に一会員として微力ながら行動してまいりますので、今後共ご指導とお力添えの程、よろしくお願い致します。

老となり、子供と遊ぶ、夏の会



六呂木老人会会長 三宅 泰行

大石地区まちづくり協議会、健康福祉部会に席を置く、六呂木老人会の活動報告をさせていただきます。

「絆」地域の交流を通して普段交流のなかった人との絆が出来、やがて大きな絆となって仲間づくり交流の普及につながり、人間関係の活性化、高齢者の孤独防止、健康で生きがい高めめるために六呂木老人会、カラオケ部、元気アップ教室とそれぞれに、頑張っておりますので今後共よろしくお願ひ申し上げます。

現在の会員数は、男24名、女26名の50名で役員は8名で運営しています。

当老人会の年間行事は4月の花見、7月の老人と子どものふれあい、今回はこの老人と子どものふれあいについてペン走らせませう。

この行事は我々の先輩の方々の長年の行事で私の3年の間にも3回の行事となります。

これまで3年間の毎年の出席数です。子ども30名、親10名、老人会30名計70名は出席いただいております。

役員は役員で今年までの様な行事をするが試行錯誤を重ねて、平成26年度はいつものごとく、夏休みに入るすぐの日曜日に実施しますが、本年度は夏休み前の7/13(日)に行います。

25年度自治会長鈴木一夫氏にお願ひし、今年もとまど一ずにお願ひして子どもの自転車、老人の押し車のルール等の勉強、時間は朝10時～午後2時ごろまで老人と親子ともと絆を深め一日を楽しみ過ごし、来年の行事を考える暑い一日を終ります。

「スポーツ文化部会」から保育園から一般市民まで一貫教育の場を体験し、有意義な一日になりますように

運動会・市民体育祭・開く

大石地区まちづくり協議会・大石公民館共同主催の平成26年度運動会・市民体育祭が5月31日（土）南小学校運動場で、真夏日の中盛大に開催された。

同協議会スポーツ文化部会桑山部会長の開会宣言に続き、岡本俊光同協議会会長から日頃の同協議会や公民館活動推進などの協力にお礼を述べ、南小学校吉戸陽子校長先生が「大江中学校区を中心に保育園、幼稚園、小中、卒業生など一貫教育の場を体験していただき有意義な一日になります様願っています」と挨拶。来賓紹介後、南小学校稲本峻介君と大江中学校稲本裕太君が代表して「最後まで楽しく競技することを…」、誓いの言葉を述べた。全員で準備体操をして始まった。

南小の生徒による50、80、100メートル走は皆元気。地区対抗玉入れや綱引き大接戦。大江中縄跳び、皆でジャンプは100回目目指し頑張った。南小の心をつないで、大江中全員リレー、迫力の団体リレーは今年も大江中学生チームが優勝した。大学生、社会人（岐阜・和歌山から）も駆け付け、最後までよく頑張った、楽しい一日を過ごした。

開会の挨拶を大江中学校水野宏美校長で締め括った。



南保育園、大石幼稚園の踊り披露



盛り上げた、南小の「南ソーラン」



初登場、南小高学年生の器械体操



迫力の団体・大江中・南小リレー

「環境総務部会」からは環境保全会、交通安全の会、石野木の会、熊が出た続きなど投稿願った

地内休耕田の環境保全を図り美しい山里を取り戻す取り組みへ

大石町は、山間の里です。当地も10数年前までは、手入れの行き届いた耕作地が一面に広がっていた。しかし昨今高齢化が進み限界集落真只中となり、耕作放棄地が目立つようになっている。何人かの有志が個人的に草草・通路の養生を行っていますが境界もあり、私が発起人となり現在8人ほどで環境保全会を設立した。まだ組織として完全な活動は行っていないが、休耕田に草をはじめとした木々の植栽をすることによって環境保全に取り組む計画です。

松坂市の協力は未定ですが、原田積善会様のご支援により平成26年度は30から50本の桜の苗木（桜枝木）を協力いただきます。次年度以降も毎年ご支援の内諾も頂戴しました。

桜等木々の植栽を通して大石町地内休耕田の環境保全を図り「美しい山里を取り戻す」べく取り組みを進めている。

環境保全会 代表者 青木 茂

出た、熊が、いや熊でも「アライグマ」と「日本穴熊」を捕獲

先般の6月2日（月）午前10時半頃、エコータカカ社長（高岡弘幸氏）より携帯電話があった。「どうも（アライグマ）らしきものが捕獲器に入った」と言う電話である。

早速エコータカカに行くと、粉れも無く「アライグマ」だ、さて、どの様に処分したものかと思案したが、とりあえず、松坂市役所の農林水産課の方に連絡を取った。外来種の為、殺処分しなくてはならないと言う事なので、市役所の方から、殺処分してくれる人に、依頼して頂く様にした。



捕獲されたアライグマ

2日後、又エコータカカの高岡弘幸氏から又電話があり、「今度はどうも日本穴熊らしいのが捕獲された」行って見ると、先般のアライグマとは違っていた。又市役所に尋ねると、日本穴熊は「どこかに放置する以外に無い」との話である。しかし放置すればまた農産物に大きな被害が生ずる訳で、何とかならないかと話すと、これも鳥獣被害動物として、処分する事になった。昨年トモロコシに大きな被害が出たのだが、ワナをかけても、一向に捕獲する事が出来なかったのだが、小片野町には「アライグマ」「日本穴熊」「ハクビシン」等がかなりな数で生息していると思われる。

大石公民館長 紀平 泰三

名称の由来は大石町の石、小片野の野、六呂木町の木を取っています

石野木会は、松坂市大石町・小片野町・六呂木町を中心に活動をする非営利団体であります。

石野木会名称の由来は、この3地区からそれぞれ一文字ずつを使用した形となっております。

主な活動内容は、石野木御所太鼓の演奏・地元清掃活動・献血イベントの実施などであり、石野木御所太鼓は地元の八咫祭奉納太鼓として作られましたが、依頼があれば地元のみならず、他の地域での演奏も行っております。

石野木御所太鼓を通じて地域住民とのつながりを大切に、老若男女を問わずコミュニケーションを図り地域の活性化と発展を目指し、日々活動を行っております。

また、太鼓のメンバーも募集しておりますので、太鼓に興味がある方はホームページからご連絡ください。 <http://shinoki.info>

石野木会 代表者 青山 茂



石野木御所太鼓

交通安全の会・国道166号線沿い、歩道の草対策と保守整備

大石地区まちづくり協議会・交通安全の会（桑山茂之進代表）は、5月18日（日）午前7時30分から今年度初めて大石班、国道166号線沿いの歩道（南小の通学路）やガードレール支柱の隙間などにセメントの塗布作業を行った。

これは、ガードレール支柱の隙間から雑草が生えて雨の日など小学生通学に足元に草があたり困っていたことや毎年雑草を取り除く作業、除草剤散布など繰り返していたことから改善していく事と環境美化に良くない事から実施にふみきたもの。この日は早朝から晴天に恵まれ、歩道の周り、雑草を取り、その後支柱の周りにセメントをこねて、詰める作業を行った。

交通安全の会は、地域の交通安全施設小規模な保守整備等を行う組織として昨年6月1日に設立。地域住民の有志（ボランティア）の組織、資材などの経費は、同協議会等からの助成による。この日の参加者は次の通り（敬称略）、桑山茂之進、山中定義、木原善治、松井正和、岡本俊光、高井了彦、今年新しく村崎英樹さんも加わった。

交通安全の会 代表 桑山茂之進



国道166号線沿いの除草とセメント詰め作業の様子。